

## まとめ：各サブグループにおける治療群間の比較

- 主要評価項目である全生存期間について、各サブグループにおいて治療群間を比較した場合、ドセタキセルと比較してゲフィチニブの効果がより高いサブグループは明らかにならなかった。
  - イレッサ割付群で生存期間が長かったサブグループでは、ドセタキセル割付群でも生存期間が長かった
- なお、副次的評価項目も含めてではあるが、いくつかのサブグループでは、ドセタキセルと比較してゲフィチニブが有効である傾向が示唆された。
  - 全生存期間： 前治療のレジメン数が2～3、前化学療法におけるベストレスポンスがPD
  - 無増悪生存期間： 女性、PS 2、罹病期間が6ヵ月未満、前化学療法におけるベストレスポンスがPD
  - 奏効率： PS 2、罹病期間が6ヵ月未満 等
- しかし、今回の結果から、これらのサブグループに関して最終的に結論付けることはできなかった。

11

## 後治療の影響

割付け治療の中止後に行われる  
抗がん剤治療